景 況 調 査 報 告 書

徳島県商工会議所連合会の景況調査結果について、次のとおり報告します。

１．調 査 時 点　　令和４年６月３０日
２．調査対象時期　　令和４年度 第１四半期
３．調査対象数及び回収状況

項目 地域	調査対象数（社）	回収数（社）	回収率
徳　島	130	98	75.4%
鳴　門	55	47	85.5%
小松島	30	30	100.0%
吉野川	30	22	73.3%
阿波池田	25	19	76.0%
阿　南	36	36	100.0%
合計	306	252	82.4%

業　種	調査対象数（社）	回収数（社）
建設業	35	28
製造業	69	59
卸売業	47	36
小売業	91	73
サービス業	64	56

４．概　況

今期の県内景況は前年同期と比較して、売上単価は増加、売上、売上数量、受注、収益はいずれも悪化となっており、仕入単価の上昇、需要の停滞、売上数量の減少等により、全体的に悪化が続いている。

① 売上の動向

売上については、前期ＤＩ値と比べ１６．９ポイント改善しており、前年同期の比較では、食料品製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、コンビニエンスストア、宿泊業、飲食店、運輸業で増加、職別・設備工事業、機械・金属製品製造業、繊維・衣服等卸売業、機械器具卸売業、飲食料品小売業で横ばいとなり、その他の業種では減少となっている。

② 売上単価の動向

売上単価については、総合工事業、食料品製造業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、機械・金属製品製造業、繊維・衣服等卸売業、建築材料、鉱物・金属材料卸売業、コンビニエンスストア、宿泊業、飲食店、運輸業で増加、繊維工業、機械器具卸売業、飲食料品小売業、自動車小売業、情報関連サービス業で横ばいとなり、その他の業種では減少となっている。

③ 売上数量の動向

売上数量については、木材・木製品製造業、宿泊業、飲食店、運輸業で増加、繊維工業、機械・金属製品製造業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品小売業、コンビニエンスストアで横ばいとなり、その他の業種では減少となっている。

※来期の売上

来期の売上については、職別・設備工事業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、機械器具卸売業、飲食料品小売業、自動車小売業、宿泊業、飲食店、運輸業、情報関連サービス業で増加、機械・金属製品製造業、機械器具小売業、コンビニエンスストアで横ばい、その他の業種では減少を見込んでおり、全体における来期売上高予想のＤＩ値は△２．４ポイントとなっている。

④ 受注の動向

受注（製造業、建設業のみ）については、食料品製造業、木材・木製品製造業で増加、職別・設備工事業、繊維工業で横ばい、その他の業種で減少となっている。来期の受注については、職別・設備工事業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、機械・金属製品製造業で増加、繊維工業で横ばい、その他の業種で減少を見込んでいる。

⑤ 収益の動向

収益については前期ＤＩ値と比べ９．４ポイント改善しており、繊維工業、飲食料品小売業、コンビニエンスストア、宿泊業、情報関連サービス業で増益、木材・木製品製造業で横ばいとなり、その他の業種では減益となっている。

来期の収益については、自動車小売業、コンビニエンスストア、宿泊業、情報関連サービス業で増益、職別・設備工事業、家具・装備品製造業、機械・金属製品製造業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品小売業で横ばいを予想しているものの、その他の業種では減益を見込んでおり、収益予想のＤＩ値は△１５．２となっている。

⑥ 設備投資の動向

設備投資については１３．６％の企業が実施しており、繊維・衣服等卸売業が６６．７％、木材・木製品製造業が４０．０％、機械器具卸売業が３３．３％の順に多かった。

内容については、情報通信機器が２６．７％、機械が２１．７％、車両運搬具が１８．３％の順となっている。投資額は、１０００万円以上が３３．３％、１００万円以上５００万円未満が２７．３％、５０万円以上１００万円未満が２１．２％の順に多かった。

⑦ 資金繰りの動向

資金繰りについては、情報関連サービス業で好転、食料品製造業、木材・木製品製造業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料、鉱物・金属材料卸売業で横ばい、その他の業種では悪化となっている。

来期の資金繰りについては、繊維工業、繊維・衣服等卸売業、建築材料、鉱物・金属材料卸売業、コンビニエンスストア、宿泊業、情報関連サービス業で横ばいとなるほかは、悪化を予想している。

⑧ 雇用の動向

雇用人員については、総合工事業、木材・木製品製造業、機械・金属製品製造業、飲食料品卸売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、自動車小売業、宿泊業、飲食店で増員、家具・装備品製造業、機械器具卸売業、コンビニエンスストア、情報関連サービス業で横ばいとなり、その他の業種では減員となっている。

来期の雇用人員については、総合工事業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、織物・衣服等・身の回り品小売業、飲食料品小売業、宿泊業、飲食店で増員、職別・設備工事業、食料品製造業、繊維工業、機械・金属製品製造業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料、鉱物・金属製品卸売業、機械器具卸売業、自動車小売業、情報関連サービス業で横ばいとなるほかは、減員を予想している。

⑨ 前期における今期の業績見通しとの比較

前期における今期の業績見通しとの比較については、総合工事業、飲食料品小売業、宿泊業、運輸業で見通しより良く、コンビニエンスストア、情報関連サービス業で見通し通りだったほかは、見通しより悪かったとしている。

⑩ 業況見通し

来期の業況見通しについては、自動車小売業、コンビニエンスストア、宿泊業、情報関連サービス業で好転、職別・設備工事業、木材・木製品製造業、機械・金属製品製造業、運輸業で横ばいとなる以外は、全ての業種で悪化を予想している。

地域別では、徳島、鳴門、小松島、吉野川、阿波池田、阿南の全ての地域で悪化となった。

自由回答では、「仕入単価が今年だけでもすでに 3 回上昇しており対応に苦慮している。海外からの新商品も少なく、繊維業界は活気がない。」（繊維・衣服等卸売業）、「電気代、仕入額の増加が経営に与える影響が大きい。」（飲食店）など、物価の上昇や円安の影響に伴う仕入単価やコストの増加に、経営が圧迫されている様子が伺えた。また、インボイスについて尋ねたところ、回答のあった 252 社のうち、「知っている」が 119 社、「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」が 82 社、「知らない」が 28 社であった。続いて、インボイス発行事業者への登録申請状況については、「登録する予定である」が 96 社、「分からない（未定）」

が 68 社、「すでに登録している」が 34 社、「現時点では登録するつもりはない」が 22 社であった。「現時点では登録するつもりはない」と回答した 22 社に対し、その理由について尋ねたところ、「取引先からの登録要請がないから」が 11 件で最も多く、「制度の内容が分からないから」が 7 件、「煩雑な経理処理など事務作業の負担が増えるから」が 4 件、「その他」が 2 件、「消費税の申告が経営の負担になるから」が 1 件となった。（回答数はいずれも無記入を除く全産業合計。一部、複数回答可の設問を含む。）

①売上の動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	増加（%）	変わらない（%）	減少（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	１６．１	４０．９	４２．９	△２６．８
今期（４～６月期）実績	２２．６	４４．８	３２．５	△９．９
来期（７～９月期）予想	１９．０	５９．５	２１．４	△２．４

②売上単価の動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較）

	増加（%）	変わらない（%）	減少（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	１１．４	６３．０	２５．６	△１４．２
今期（４～６月期）実績	１９．０	６４．７	１６．３	２．８

③売上数量の動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較）

	増加（%）	変わらない（%）	減少（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	１３．０	４４．１	４２．９	△２９．９
今期（４～６月期）実績	１９．８	４７．２	３２．９	△１３．１

④受注の動向（建設業、製造業のみ）
（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	増加（%）	変わらない（%）	減少（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	２０．４	４６．２	３３．３	△１２．９
今期（４～６月期）実績	１９．４	５８．２	２２．４	△３．１
来期（７～９月期）予想	１７．３	６７．３	１５．３	２．０

⑤収益の動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	好転（%）	変わらない（%）	悪化（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	９．１	５３．０	３７．９	△２８．９
今期（４～６月期）実績	１４．３	５１．８	３３．９	△１９．５
来期（７～９月期）予想	１３．２	５８．４	２８．４	△１５．２

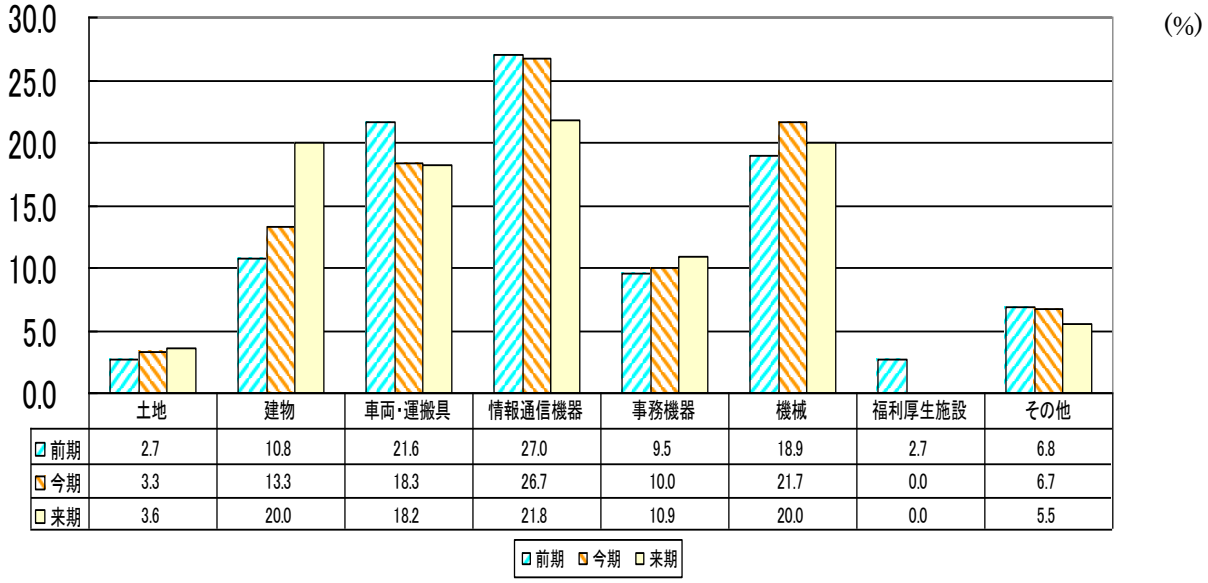
⑥在庫の動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較）

	不足（%）	適正（%）	過大（%）	該当なし（%）
前期（１～３月期）実績	１０．２	６６．３	１８．７	４．８
今期（４～６月期）実績	９．１	７０．１	１５．９	４．９

⑦設備投資の動向
（１）実施状況

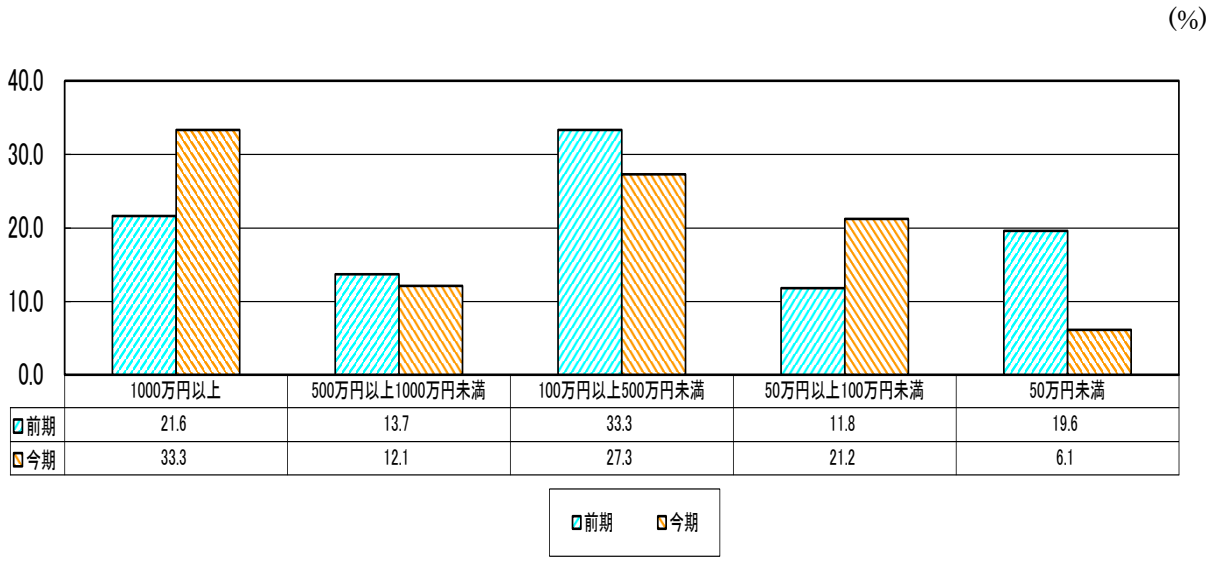
	実施した（%）	実施していない（%）
前期（１～３月期）実績	２０．９	７９．１
今期（４～６月期）実績	１３．６	８６．４
来期（７～９月期）予想	１５．４	８４．６

（２）実施内容（今期実施企業中）



	土地	建物	車両･運搬具	情報通信機器	事務機器	機械	福利厚生施設	その他
前期	2.7	10.8	21.6	27.0	9.5	18.9	2.7	6.8
今期	3.3	13.3	18.3	26.7	10.0	21.7	0.0	6.7
来期	3.6	20.0	18.2	21.8	10.9	20.0	0.0	5.5

（３）実施金額の内訳（今期実施企業中）



	1000万円以上	500万円以上1000万円未満	100万円以上500万円未満	50万円以上100万円未満	50万円未満
前期	21.6	13.7	33.3	11.8	19.6
今期	33.3	12.1	27.3	21.2	6.1

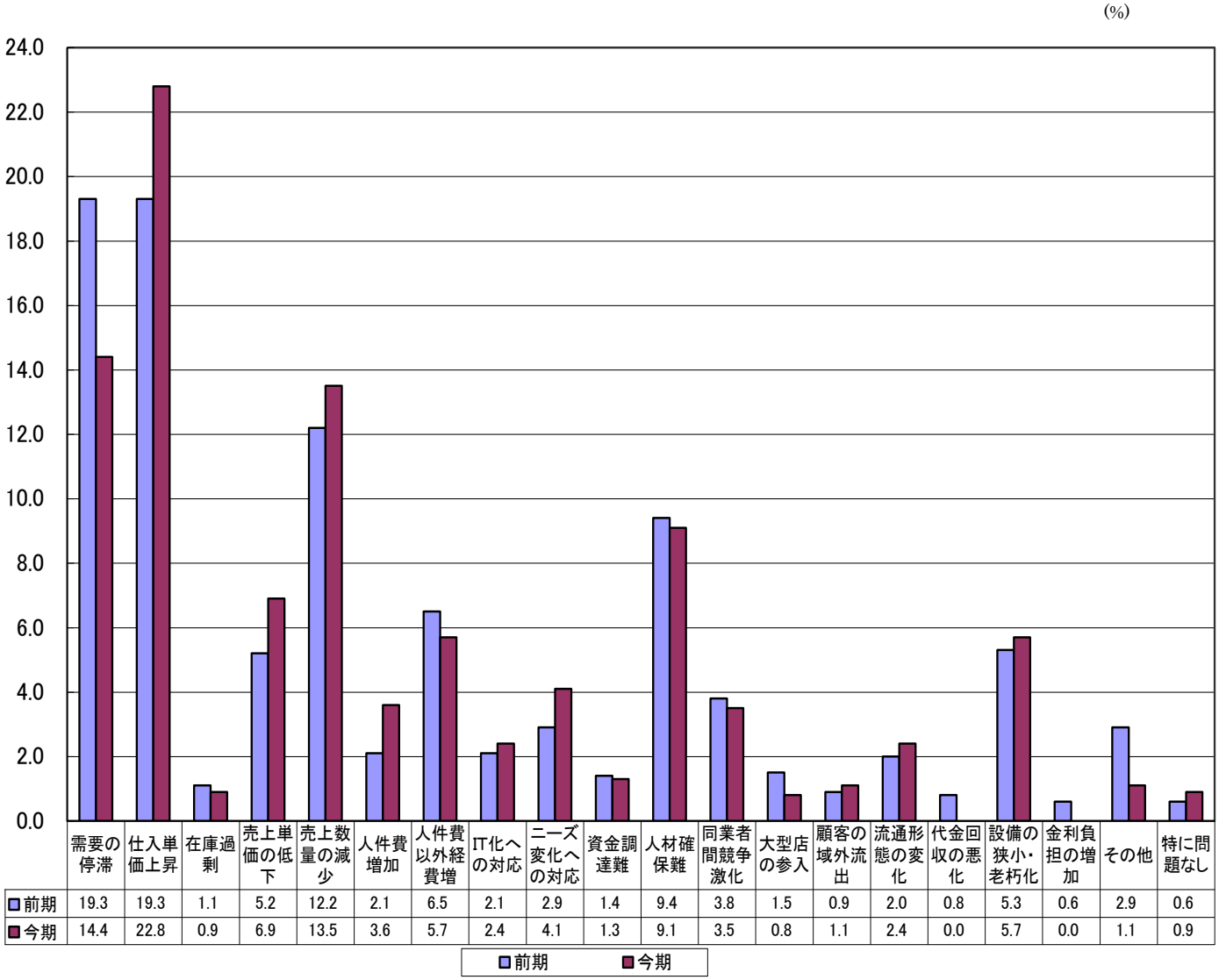
⑧資金繰りの動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	好転（%）	変わらない（%）	悪化（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	３．１	６７．７	２９．１	△２６．０
今期（４～６月期）実績	６．０	７６．１	１７．９	△１２．０
来期（７～９月期）予想	２．０	８０．８	１７．２	△１５．２

⑨雇用の動向（前期実績・今期実績は前年同期との比較、来期予想は今期との比較）

	増員（%）	変わらない（%）	減員（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	７．６	７９．７	１２．７	△５．２
今期（４～６月期）実績	１０．８	７６．１	１３．１	△２．４
来期（７～９月期）予想	５．６	９０．８	３．６	２．０

⑩経営上の問題点（複数回答：３つまで）



	需要の停滞	仕入単価上昇	在庫過剰	売上単価の低下	売上数量の減少	人件費増加	人件費以外経費増	IT化への対応	ニーズ変化への対応	資金調達難	人材確保難	同業者間競争激化	大型店の参入	顧客の域外流出	流通形態の変化	代金回収の悪化	設備の狭小・老朽化	金利負担の増加	その他	特に問題なし
前期	19.3	19.3	1.1	5.2	12.2	2.1	6.5	2.1	2.9	1.4	9.4	3.8	1.5	0.9	2.0	0.8	5.3	0.6	2.9	0.6
今期	14.4	22.8	0.9	6.9	13.5	3.6	5.7	2.4	4.1	1.3	9.1	3.5	0.8	1.1	2.4	0.0	5.7	0.0	1.1	0.9

⑪前期における今期の業績見通しとの比較

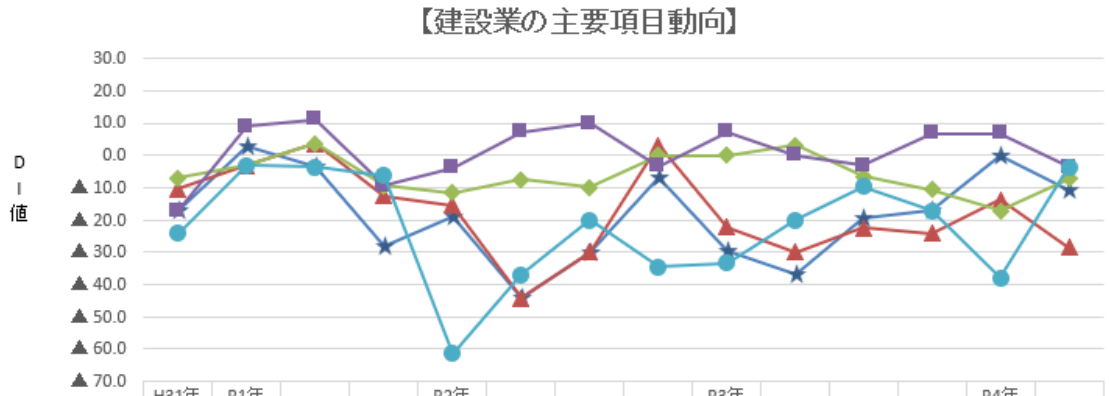
	良い（%）	変わらない（%）	悪い（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	７．９	６１．０	３１．１	△２３．２
今期（４～６月期）実績	９．９	６９．４	２０．６	△１０．７

⑫業況見通し

	好転（%）	変わらない（%）	悪化（%）	ＤＩ値
前期（１～３月期）実績	１１．０	５７．９	３１．１	△２０．１
今期（４～６月期）実績	１３．１	６２．３	２４．６	△１１．５

■業種別の動向

Ⅰ．建設業



	H31年1-3月	R1年4-6月	7-9月	10-12月	R2年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R3年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R4年1-3月	4-6月
売上	▲17.2	3.0	▲3.7	▲28.1	▲19.2	▲44.4	▲30.0	▲6.7	▲29.6	▲36.7	▲19.4	▲17.2	0.0	▲10.7
収益	▲10.3	▲3.0	3.7	▲12.5	▲15.4	▲44.4	▲30.0	3.3	▲22.2	▲30.0	▲22.6	▲24.1	▲13.8	▲28.6
資金繰り	▲6.9	▲3.0	3.7	▲9.4	▲11.5	▲7.4	▲10.0	0.0	0.0	3.3	▲6.5	▲10.7	▲17.2	▲7.1
雇用	▲17.2	9.1	11.1	▲9.4	▲3.8	7.4	10.0	▲3.3	7.4	0.0	▲3.2	6.9	6.9	▲3.6
業況見通し	▲24.1	▲3.0	▲3.7	▲6.3	▲61.5	▲37.0	▲20.0	▲34.5	▲33.3	▲20.0	▲9.7	▲17.2	▲37.9	▲3.6

※（　）内は前期値

前年同期に比べ、売上は２５．０％（２７．６％）の企業が減少とし、ＤＩ△１０．７（０．０）ポイント、受注は２２．２％（３７．０％）の企業が減少とし、ＤＩ△３．７（△１４．８）ポイント、収益は３５．７％（３１．０％）の企業が減少とし、ＤＩ△２８．６（△１３．８）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　３．６（△６．９）ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が３６．５％、人材の確保難が２２．２％、需要の停滞、設備の狭小・老朽化がともに７．９％の順に多かった。

来期、売上は減少、受注は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△３．６（△３７．９）ポイントとなっている。

Ⅰ－１総合工事業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△２０．０（１４．３）ポイント、受注はＤＩ△６．７（△７．１）ポイント、収益はＤＩ△２６．７（△２１．４）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　１３．３（△１４．３）ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が３６．４％、人材の確保難が２７．３％、需要の停滞が９．１％の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△６．７（△４２．９）ポイントとなっている。

Ⅰ－２職別・設備工事業

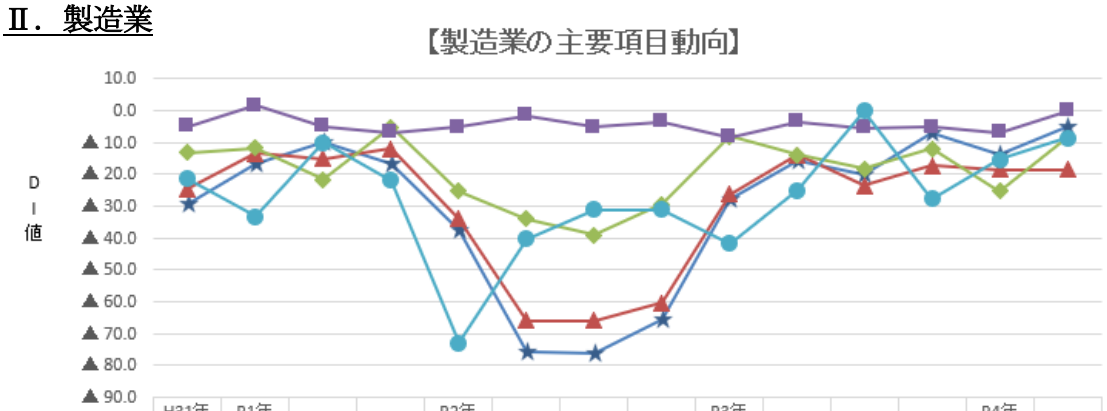
前年同期に比べ、売上はＤＩ　０．０（△１３．３）ポイント、受注はＤＩ　０．０（△２３．１）ポイント、収益はＤＩ△３０．８（△６．７）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△７．７（０．０）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が３６．７％、人材の確保難が１６．７％、設備の狭小・老朽化が１０．０％の順に多かった。

来期、売上、受注はともに増加、収益は横ばいになるとしており、来期の業況予想のＤＩは　０．０（△３３．３）ポイントとなっている。

Ⅱ．製造業



	H31年1-3月	R1年4-6月	7-9月	10-12月	R2年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R3年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R4年1-3月	4-6月
売上	▲29.5	▲16.7	▲10.0	▲16.9	▲37.3	▲75.8	▲76.3	▲65.5	▲27.9	▲15.8	▲20.0	▲6.8	▲13.6	▲5.1
収益	▲24.6	▲13.3	▲15.0	▲11.9	▲33.9	▲66.1	▲66.1	▲60.3	▲26.2	▲14.0	▲23.6	▲17.2	▲18.6	▲18.6
資金繰り	▲13.1	▲11.7	▲21.7	▲5.1	▲25.4	▲33.9	▲39.0	▲29.3	▲8.2	▲14.0	▲18.2	▲11.9	▲25.4	▲8.5
雇用	▲4.9	1.7	▲5.0	▲6.8	▲5.1	▲1.6	▲5.1	▲3.4	▲8.3	▲3.5	▲5.5	▲5.1	▲6.9	0.0
業況見通し	▲21.3	▲33.3	▲10.0	▲22.0	▲72.9	▲40.3	▲31.0	▲31.0	▲41.7	▲25.0	0.0	▲27.6	▲15.3	▲8.5

前年同期に比べ、売上は２８．８％（３３．９％）の企業が減少とし、ＤＩ△５．１（△１３．６）ポイント、受注は２１．８％（２６．８％）の企業が減少とし、ＤＩ　０．０（△５．４）ポイント、収益は２７．１％（３２．２％）の企業が減少とし、ＤＩ△１８．６（△１８．６）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１８．６（△１１．９）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が２５．８％、売上数量の減少が１５．２％、需要の停滞が１４．６％の順に多かった。

来期、売上は減少、受注は横ばい、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△８．５（△１５．３）ポイントとなっている。

Ⅱ－１食料品製造業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　７．１（７．１）ポイント、受注はＤＩ　９．１（１８．２）ポイント、収益はＤＩ△１４．３（７．１）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１４．３（７．１）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が３２．４％、売上数量の減少が１４．７％、需要の停滞が１１．８％の順に多かった。

来期、売上、受注、収益はいずれも減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△２８．６（△１４．３）ポイントとなっている。

Ⅱ－２繊維工業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　３３．３（△５０．０）ポイント、受注はＤＩ　０．０（△１６．７）ポイント、収益はＤＩ　１６．７（△５０．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１６．７（△３３．３）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、人件費以外の経費増加、設備の狭小・老朽化がともに１８．８％、仕入単価の上昇、売上数量の減少、人件費の増加がいずれも１２．５％、需要の停滞、売上単価の低下、IT 化への対応、人材の確保難がいずれも６．３％の順となった。

来期、売上は減少、受注は横ばい、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△１６．７（△３３．３）ポイントとなっている。

Ⅱ－３木材・木製品製造業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　３０．０（３０．０）ポイント、受注はＤＩ　４０．０（３０．０）ポイント、収益はＤＩ　０．０（０．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１０．０（１０．０）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が２２．２％、売上数量の減少が１８．５％、需要の停滞、売上単価の低下がともに１４．８％の順に多かった。

来期、売上、受注はともに増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　０．０（△２０．０）ポイントとなっている。

Ⅱ－４家具・装備品製造業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△６６．７（△４４．４）ポイント、受注はＤＩ△４４．４（△４４．４）ポイント、収益はＤＩ△４４．４（△５５．６）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△３３．３（０．０）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が２８．０％、仕入単価の上昇が２４．０％、売上数量の減少が２０．０％の順に多かった。

来期、売上、受注はともに増加、収益は横ばいになるとしており、来期の業況予想のＤＩは△１１．１（△２２．２）ポイントとなっている。

Ⅱ－５機械・金属製品製造業

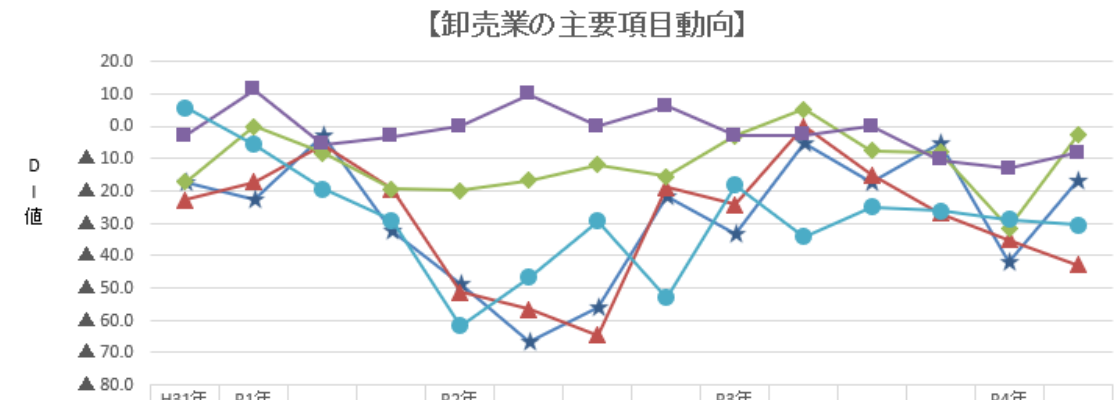
前年同期に比べ、売上はＤＩ　０．０（△２５．０）ポイント、受注はＤＩ△１１．１（△１２．５）ポイント、収益はＤＩ△３３．３（△２５．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１１．１（△５０．０）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が３３．３％、需要の停滞、人件費以外の経費増加、人材の確保難がいずれも１４．３％、売上数量の減少、設備の狭小・老朽化がともに９．５％の順に多かった。

来期、売上は横ばい、受注は増加、収益は横ばいになるとしており、来期の業況予想のＤＩは　０．０（△１２．５）ポイントとなっている。

Ⅲ．卸売業



	H31年 1-3月	R1年 4-6月	7-9月	10-12月	R2年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R3年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R4年 1-3月	4-6月
売上	▲17.1	▲22.9	▲2.8	▲32.3	▲48.6	▲66.7	▲55.9	▲21.9	▲33.3	▲5.3	▲17.5	▲5.3	▲42.1	▲16.7
収益	▲22.9	▲17.1	▲5.6	▲19.4	▲51.4	▲56.7	▲64.7	▲18.8	▲24.2	0.0	▲15.0	▲27.0	▲35.1	▲42.9
資金繰り	▲17.1	0.0	▲8.3	▲19.4	▲20.0	▲16.7	▲11.8	▲15.6	▲3.0	5.3	▲7.5	▲7.9	▲31.6	▲2.8
雇用	▲2.9	11.4	▲5.6	▲3.2	0.0	10.0	0.0	6.3	▲3.0	▲2.6	0.0	▲10.5	▲13.2	▲8.3
業況見通し	5.7	▲5.7	▲19.4	▲29.0	▲61.8	▲46.7	▲29.4	▲53.1	▲18.2	▲34.2	▲25.0	▲26.3	▲28.9	▲30.6

前年同期に比べ、売上は４１．７％（５７．９％）の企業が減少とし、ＤＩ△１６．７（△４２．１）ポイント、収益は５１．４％（４３．２％）の企業が減少とし、ＤＩ△４２．９（△３５．１）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△２２．２（△２３．７）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が２８．０％、需要の停滞が１６．１％、売上数量の減少が１１．８％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△３０．６（△２８．９）ポイントとなっている。

Ⅲ－１繊維・衣服等卸売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　０．０（△５０．０）ポイント、収益はＤＩ△５０．０（△２５．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△５０．０（△２５．０）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇、売上数量の減少、流通形態の変化（インターネット販売含む）がいずれも１６．７％、需要の停滞、人件費以外の経費増加、IT 化への対応、人材の確保難、同業者間の競争激化、設備の狭小・老朽化がいずれも８．３％であった。

来期、売上は減少、収益は横ばいになるとしており、来期の業況予想のＤＩは△２５．０（０．０）ポイントとなっている。

Ⅲ－２飲食料品卸売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△３０．０（△７０．０）ポイント、収益はＤＩ△３０．０（△７０．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△３０．０（△４０．０）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が３３．３％、需要の停滞、売上数量の減少がともに１２．５％、人件費以外の経費増加、同業者間の競争激化がともに８．３％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△２０．０（△４０．０）ポイントとなっている。

Ⅲ－3 建築材料、鉱物・金属材料卸売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△４０．０（△３６．４）ポイント、収益はＤＩ△６６．７（△３０．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１０．０（△２７．３）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が２６．９％、需要の停滞が１９．２％、売上数量の減少が１５．４％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△５０．０（△２７．３）ポイントとなっている。

Ⅲ－4 機械器具卸売業

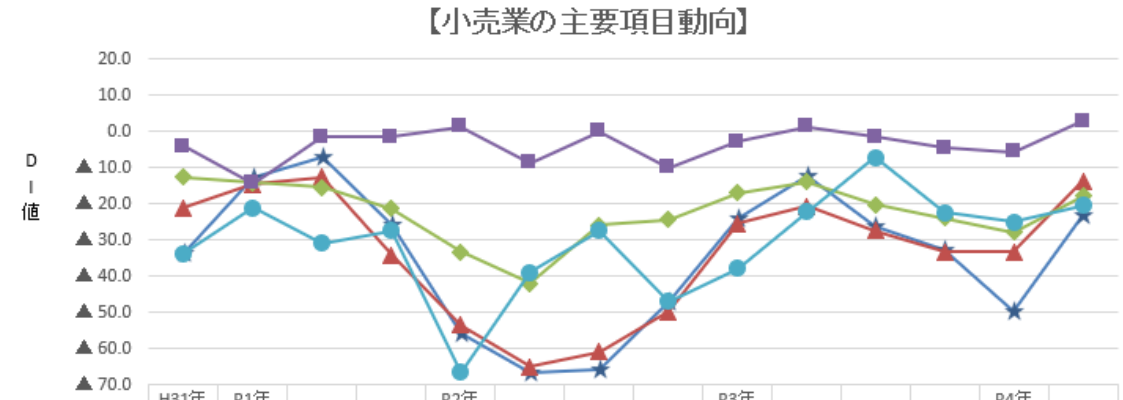
前年同期に比べ、売上はＤＩ　０．０（△３３．３）ポイント、収益はＤＩ△３３．３（△３３．３）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△３３．３（△１６．７）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が２５．０％、需要の停滞が１８．８％、人材の確保難が１２．５％の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△３３．３（△３３．３）ポイントとなっている。

Ⅳ．小売業



	H31年 1-3月	R1年 4-6月	7-9月	10-12月	R2年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R3年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R4年 1-3月	4-6月
売上	▲33.8	▲12.7	▲7.0	▲25.7	▲55.7	▲66.7	▲65.8	▲47.1	▲23.9	▲12.5	▲26.1	▲32.8	▲50.0	▲23.3
収益	▲21.1	▲14.5	▲12.7	▲34.3	▲53.6	▲65.2	▲61.1	▲50.0	▲25.4	▲20.8	▲27.5	▲33.3	▲33.3	▲13.7
資金繰り	▲12.7	▲14.1	▲15.5	▲21.4	▲33.3	▲42.0	▲26.0	▲24.3	▲16.9	▲13.9	▲20.3	▲23.9	▲27.8	▲17.8
雇用	▲4.2	▲14.3	▲1.4	▲1.4	1.4	▲8.8	0.0	▲10.0	▲2.8	1.4	▲1.5	▲4.5	▲5.7	2.8
業況見通し	▲33.8	▲21.1	▲31.0	▲27.5	▲66.7	▲39.1	▲27.4	▲47.1	▲38.0	▲22.2	▲7.2	▲22.4	▲25.0	▲20.5

前年同期に比べ、売上は３９．７％（５５．６％）の企業が減少とし、ＤＩ△２３．３（△５０．０）ポイント、収益は３０．１％（３７．５％）の企業が減少とし、ＤＩ△１３．７（△３３．３）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△９．６（△１９．４）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、売上数量の減少が１９．７％、仕入単価の上昇が１６．３％、需要の停滞が１５．７％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△２０．５（△２２．４）ポイントとなっている。

Ⅳ－１織物・衣服・身の回り品小売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△２０．８（△５２．２）ポイント、収益はＤＩ△１６．７（△３０．４）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△２９．２（△４３．５）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、売上数量の減少が２４．１％、需要の停滞が１９．０％、仕入単価の上昇が１５．５％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに減少・減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△４５．８（△２６．１）ポイントとなっている。

Ⅳ－２飲食料品小売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　０．０（△３５．３）ポイント、収益はＤＩ　５．３（△３５．３）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　１５．８（△３５．３）ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が１８．０％、、売上数量の減少が１６．０％、需要の停滞が１４．０％の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は横ばいになるとしており、来期の業況予想のＤＩは△１０．５（△２３．５）ポイントとなっている。

Ⅳ－３機械器具小売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△６０．０（△６６．７）ポイント、収益はＤＩ△５０．０（△３３．３）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１０．０（△３３．３）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、需要の停滞が２３．１％、売上単価の低下、売上数量の減少がともに１９．２％、仕入単価の上昇が１５．４％だった。

来期、売上は横ばい、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△２０．０（△２２．２）ポイントとなっている。

Ⅳ－４自動車小売業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△３３．３（△７１．４）ポイント、収益はＤＩ△１６．７（△５７．１）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△３３．３（△２８．６）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、売上数量の減少が１８．２％、需要の停滞、仕入単価の上昇、売上単価の低下、人件費の増加、ニーズ変化への対応、人材の確保難、同業者間の競争激化、設備の狭小・老朽化がいずれも９．１％だった。

来期、売上、収益はともに増加・増益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　１６．７（△１４．３）ポイントとなっている。

Ⅳ－5 コンビニエンスストア

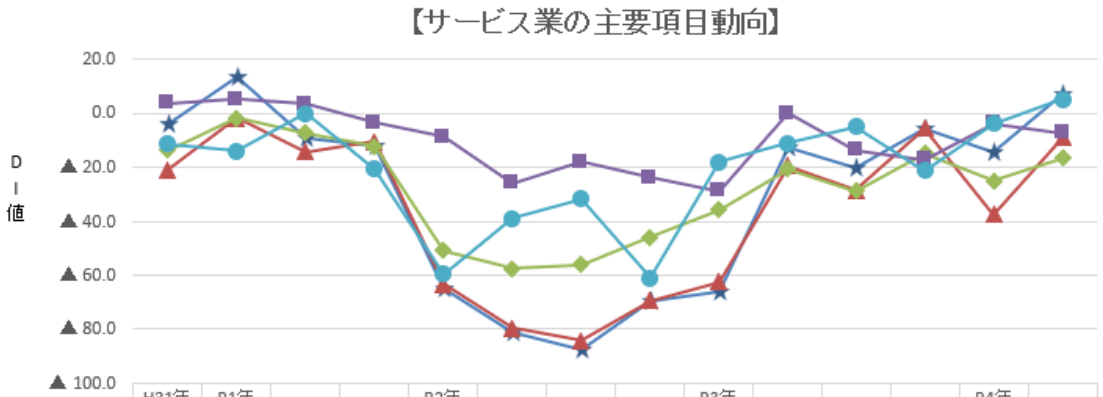
前年同期に比べ、売上はＤＩ　３３．３（△２５．０）ポイント、収益はＤＩ　３３．３（△５０．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　０．０（△５０．０）ポイントとなり見通し通りだったとなっている。

経営上の問題点は、売上数量の減少が２８．６％、需要の停滞、仕入単価の上昇、売上単価の低下、人件費の増加、人材の確保難がいずれも１４．３％だった。

来期、売上は横ばい、収益は増益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　３３．３（△７５．０）ポイントとなっている。

Ｖ．サービス業その他



	H31年1-3月	R1年4-6月	7-9月	10-12月	R2年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R3年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R4年1-3月	4-6月
売上	▲3.8	13.8	▲8.9	▲12.1	▲64.9	▲81.4	▲87.7	▲69.5	▲66.1	▲12.7	▲20.0	▲5.6	▲14.3	7.1
収益	▲20.8	▲1.7	▲14.3	▲10.3	▲63.2	▲79.7	▲84.2	▲69.5	▲62.5	▲19.4	▲28.3	▲5.6	▲37.5	▲8.9
資金繰り	▲13.5	▲1.7	▲7.1	▲12.1	▲50.9	▲57.6	▲56.1	▲45.8	▲35.7	▲20.6	▲28.8	▲14.8	▲25.0	▲16.4
雇用	3.8	5.3	3.6	▲3.4	▲8.8	▲25.9	▲17.9	▲23.7	▲28.6	0.0	▲13.6	▲17.0	▲3.6	▲7.1
業況見通し	▲11.3	▲14.0	0.0	▲20.7	▲59.6	▲39.0	▲31.6	▲61.0	▲17.9	▲11.1	▲5.0	▲21.2	▲3.6	5.4

前年同期に比べ、売上は３２．１％（１９．６％）の企業が増加とし、ＤＩ　７．１（△１４．３）ポイント、収益は３３．９％（４４．６％）の企業が減少とし、ＤＩ△８．９（△３７．５）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△３．６（△３２．１）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が１８．４％、需要の停滞が１４．５％、人材の確保難が１１．２％の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　５．４（△３．６）ポイントとなっている。

Ｖ－１宿泊業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　５４．５（△１０．０）ポイント、収益はＤＩ　３６．４（△３０．０）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　９．１（△５０．０）ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇、設備の狭小・老朽化がともに１９．４％、人材の確保難が１６．１％、人件費の増加が９．７％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに増加・増益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　９０．９（４０．０）ポイントとなっている。

Ｖ－２飲食店

前年同期に比べ、売上はＤＩ　１８．２（△３６．４）ポイント、収益はＤＩ△９．１（△６３．６）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ△１８．２（△４５．５）ポイントとなり見通しより悪かったとなっている。

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が２４．１％、設備の狭小・老朽化が１７．２％、売上単価の低下が１３．８％の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは△２７．３（１８．２）ポイントとなっている。

Ｖ－３運輸業

前年同期に比べ、売上はＤＩ　７．１（△６．７）ポイント、収益はＤＩ△２８．６（△５３．３）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　７．１（△４０．０）ポイントとなり見通しより良かったとなっている。

経営上の問題点は、人材の確保難が２１．１％、仕入単価の上昇、売上数量の減少がともに１８．４％、需要の停滞が１５．８％の順に多かった。

来期、売上は増加、収益は減益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　０．０（△６０．０）ポイントとなっている。

Ｖ－４情報関連サービス業

前年同期に比べ、売上はＤＩ△１４．３（△１４．３）ポイント、収益はＤＩ　１４．３（△２８．６）ポイントとなっている。

前期における今期の業績見通しと比べた今期の実績は、ＤＩ　０．０（△１４．３）ポイントとなり見通し通りだったとなっている。

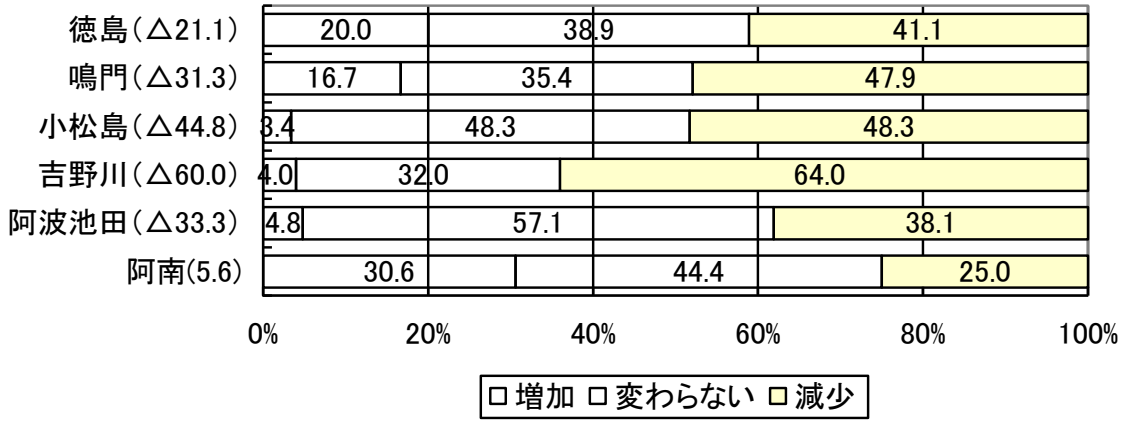
経営上の問題点は、需要の停滞が２５．０％、ニーズ変化への対応が１８．８％、売上単価の低下、売上数量の減少がともに１２．５％の順に多かった。

来期、売上、収益はともに増加・増益になるとしており、来期の業況予想のＤＩは　１４．３（０．０）ポイントとなっている。

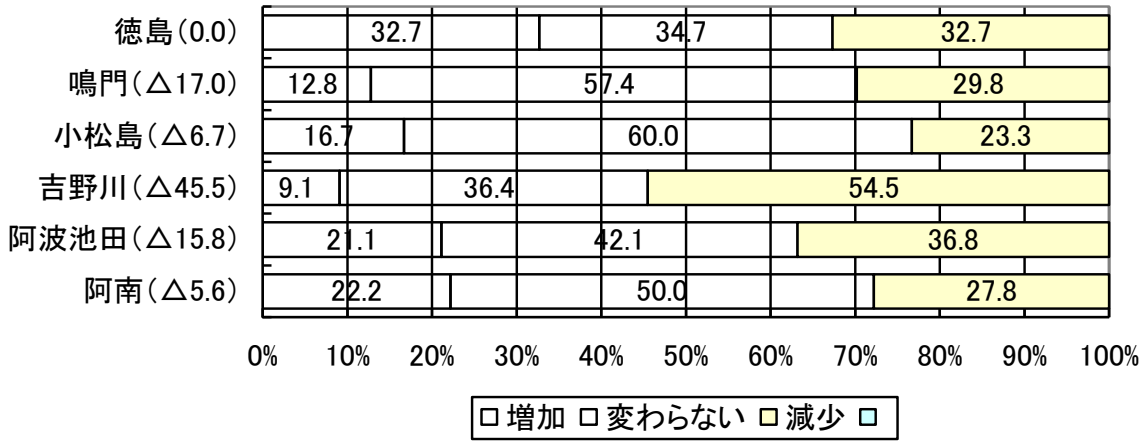
■．地域別の動向

①売上の動向

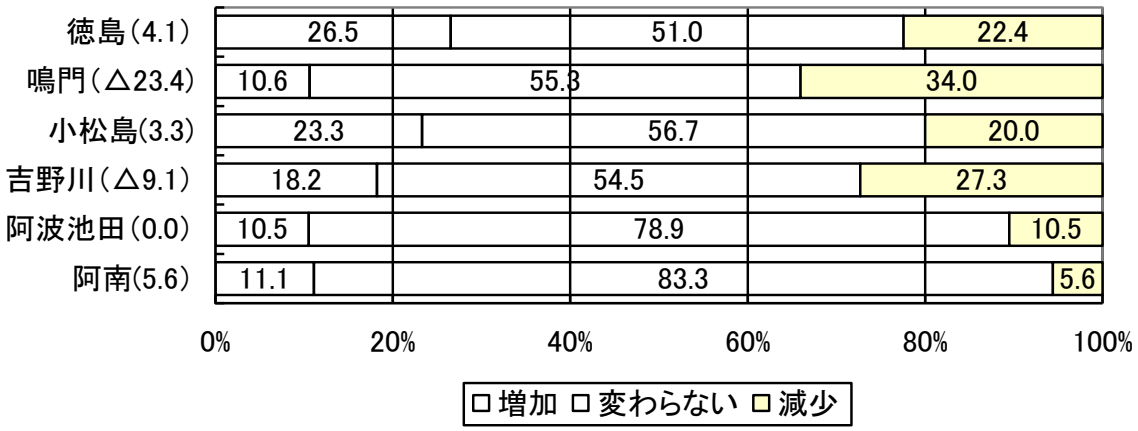
【前期の実績(前年同期比)】



【今期の実績(前年同期比)】

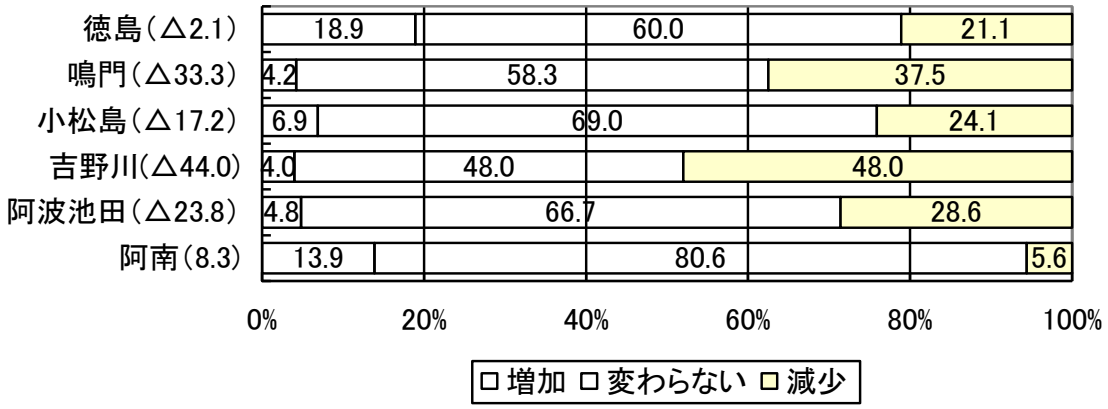


【来期の実績予想(今期比)】

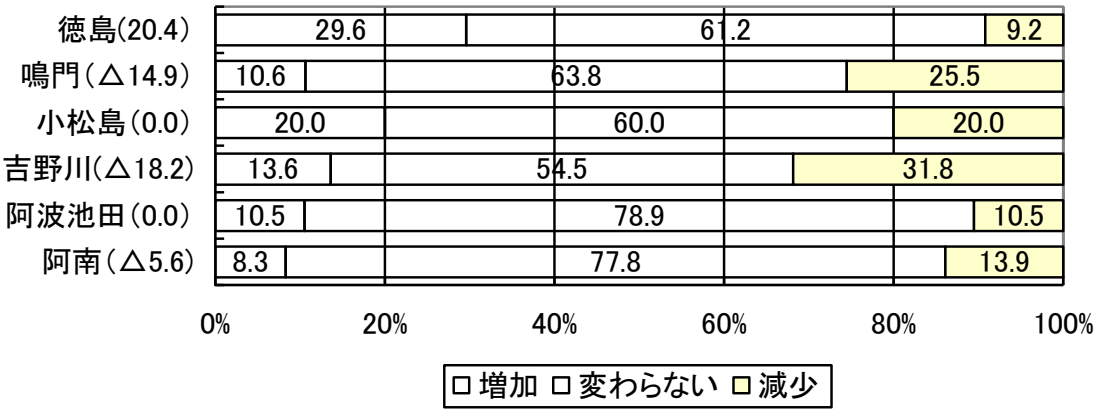


②売上単価の動向

【前期の実績(前年同期比)】

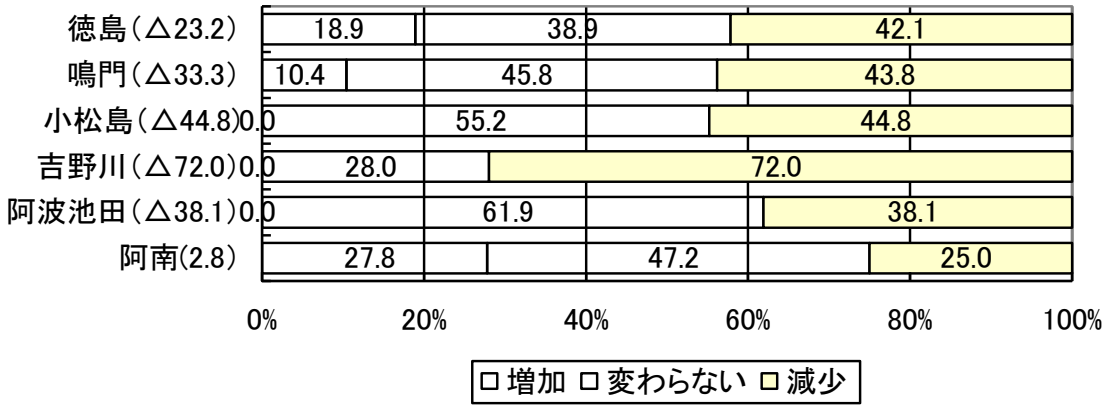


【今期の実績(前年同期比)】

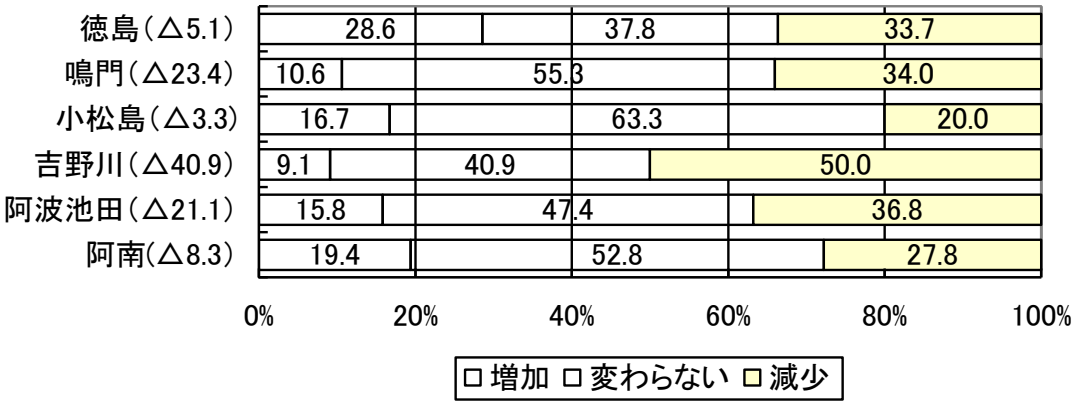


③売上数量の動向

【前期の実績(前年同期比)】

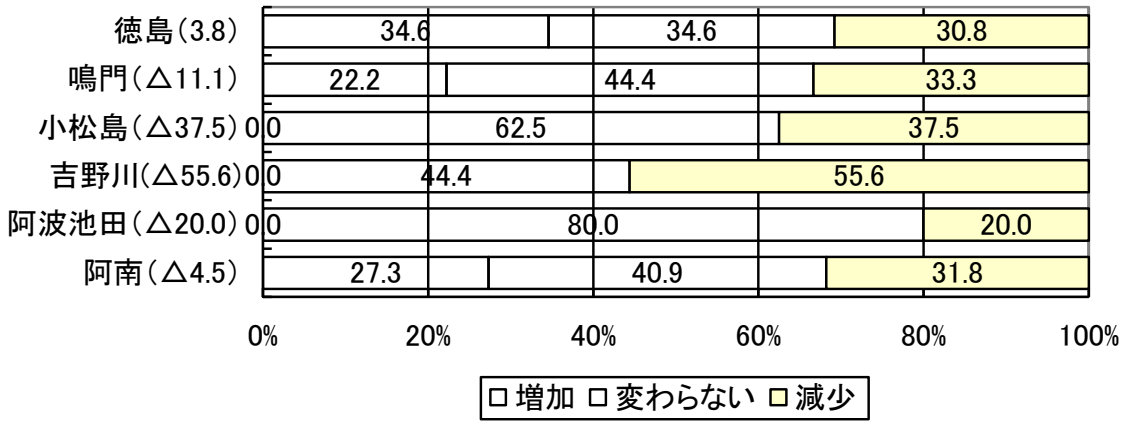


【今期の実績(前年同期比)】

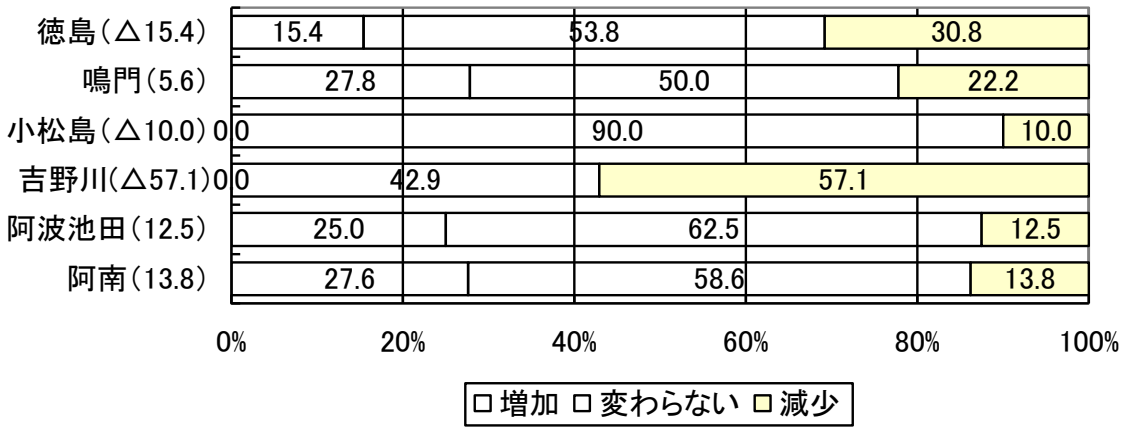


④受注の動向

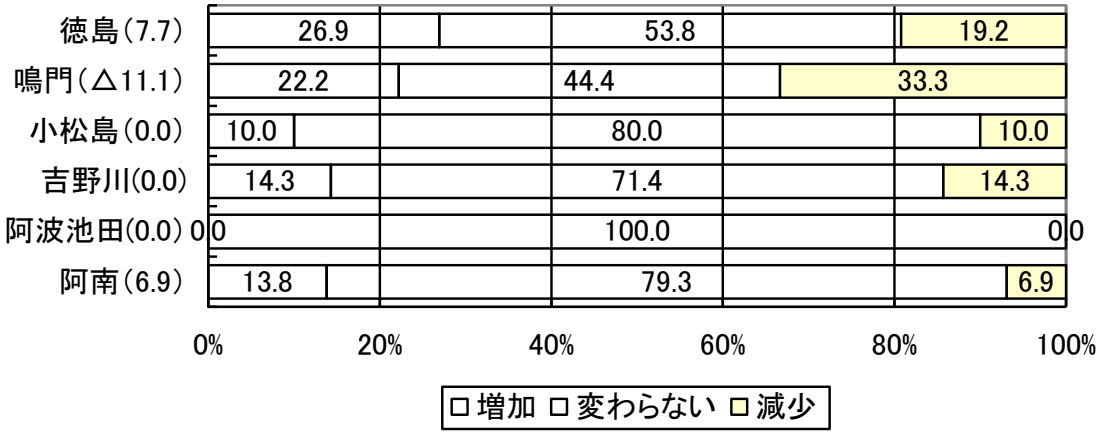
【前期の実績(前年同期比)】



【今期の実績(前年同期比)】

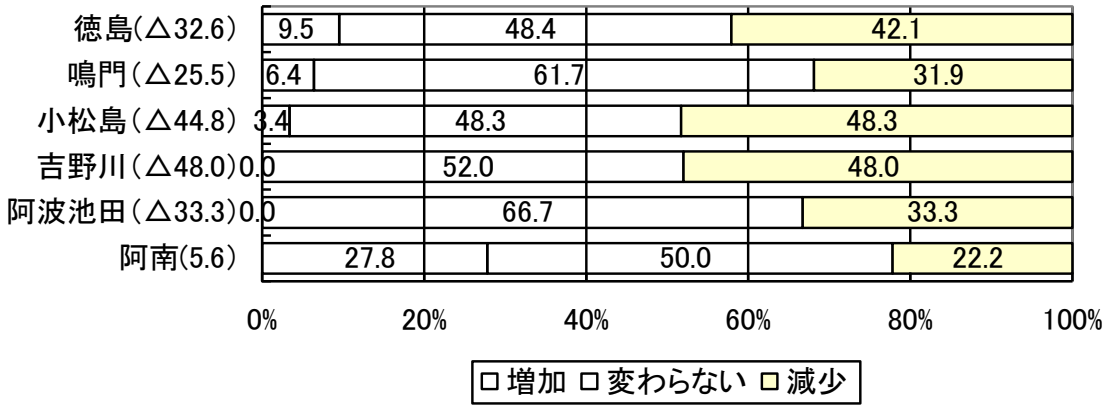


【来期の実績予想(今期比)】

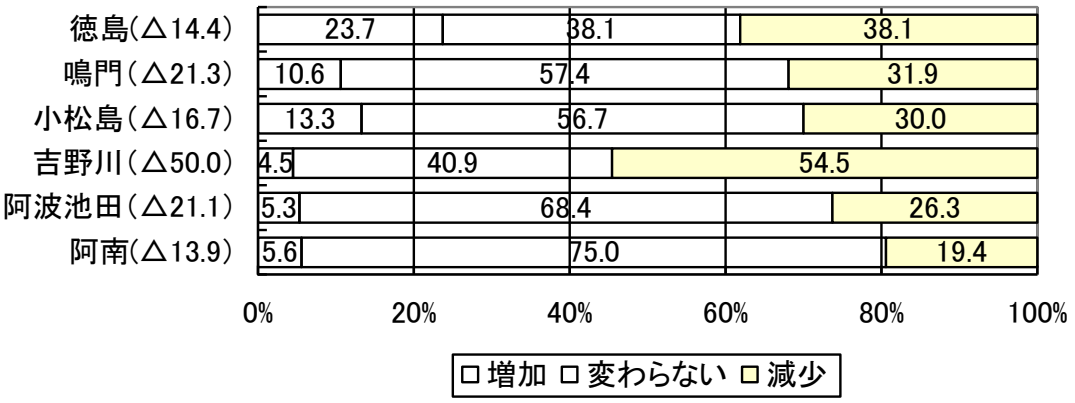


⑤収益の動向

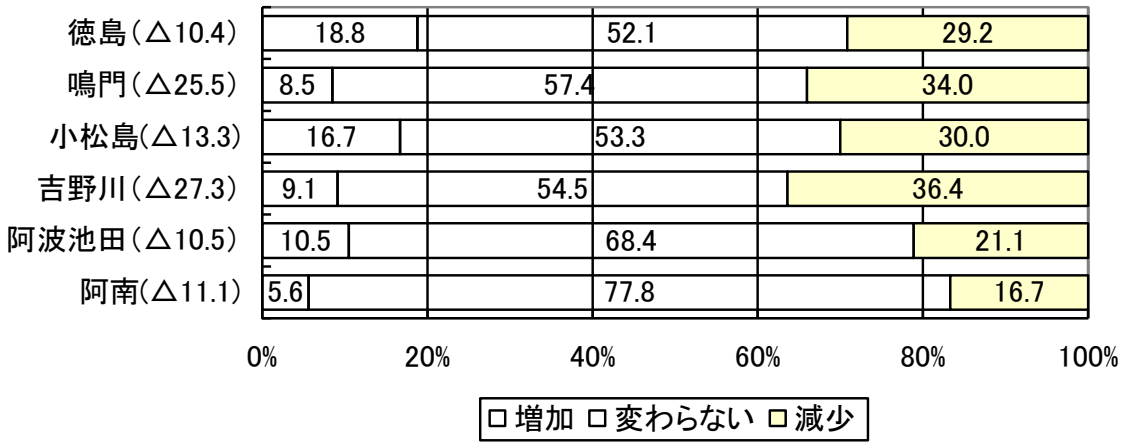
【前期の実績(前年同期比)】



【今期の実績(前年同期比)】



【来期の実績予想(今期比)】



⑥雇用の動向

前　期　の　実　績

	増加（%）	変わらない(%)	減少（%）	DI 値
徳　島	11.8	68.8	19.4	△7.5
鳴　門	2.1	85.4	12.5	△10.4
小 松 島	7.1	89.3	3.6	3.6
吉 野 川	12.0	84.0	4.0	8.0
阿波池田	0.0	85.7	14.3	△14.3
阿　南	5.6	86.1	8.3	△2.8

今　期　の　実　績

	増加（%）	変わらない(%)	減少（%）	DI 値
徳　島	17.5	62.9	19.6	△2.1
鳴　門	4.3	89.4	6.4	△2.1
小 松 島	6.7	86.7	6.7	0.0
吉 野 川	9.1	86.4	4.5	4.5
阿波池田	10.5	73.7	15.8	△5.3
阿　南	5.6	80.6	13.9	△8.3

来　期　の　予　想

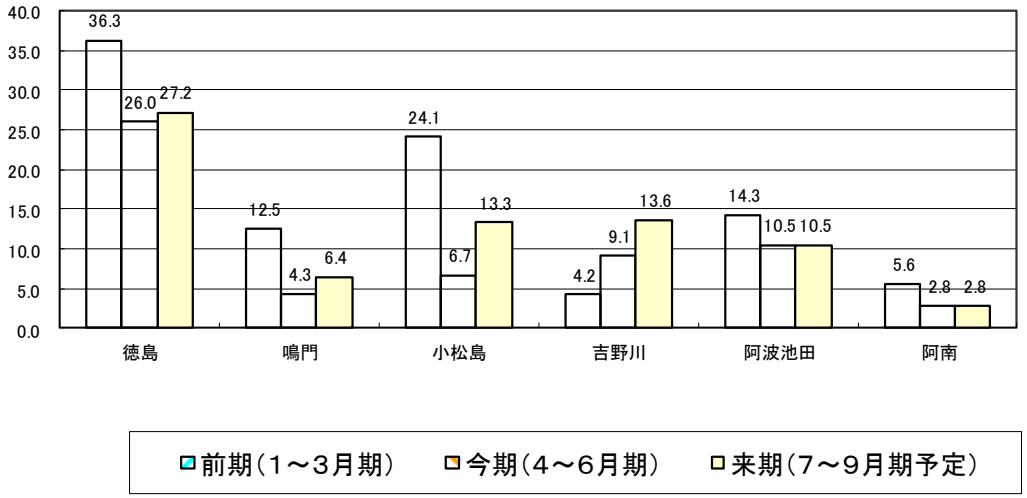
	増加（%）	変わらない(%)	減少（%）	DI 値
徳　島	11.3	81.4	7.2	4.1
鳴　門	2.1	95.7	2.1	0.0
小 松 島	3.3	96.7	0.0	3.3
吉 野 川	0.0	95.5	4.5	△4.5
阿波池田	0.0	100.0	0.0	0.0
阿　南	2.8	97.2	0.0	2.8

⑦設備投資の動向

（１）実施状況

(%)

設備投資実施（予定）企業の割合



（２）実施内容（今期実施企業中：複数回答）

今　期　の　実　績　　(%)

項目／地域	土　地	建　物	車両・運搬具	情報通信機器(パソコン等)	事務機器	機　械	福利厚生施設	その他
徳　島	2.4	11.9	21.4	23.8	9.5	23.8	0.0	7.1
鳴　門	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
小松島	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
吉野川	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
阿波池田	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
阿　南	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

来　期　の　予　想　　(%)

項目／地域	土　地	建　物	車両・運搬具	情報通信機器(パソコン等)	事務機器	機　械	福利厚生施設	その他
徳　島	5.3	13.2	21.1	21.1	7.9	26.3	0.0	5.3
鳴　門	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小松島	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
吉野川	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
阿波池田	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
阿　南	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦設備投資の動向

（３）実施金額

今　期　の　実　績　　(%)

	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 500万円未満	500万円以上 1000万円未満	1000万円以上
徳　　島	8.3	16.7	25.0	8.3	41.7
鳴　　門	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
小 松 島	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
吉 野 川	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
阿波池田	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
阿　　南	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

⑧経営上の問題点（複数回答）　　(%)

	需要の停滞	仕入単価の上昇	在庫過剰	売上単価低下	売上数量減少	人件費増加	人件費以外経費増	ＩＴ化への対応	ニーズ変化への対応	資金調達難	人材確保難	同業者間の競争激化	大型店の参入	顧客の域外流出	流通形態の変化	代金回収の悪化	設備の狭小・老朽化	金利負担増加	その他	問題なし
徳　　島	13.5	18.7	0.8	2.8	10.3	4.8	9.1	4.0	3.6	1.2	12.3	3.2	1.2	1.2	4.4	0.0	7.5	0.0	1.2	0.4
鳴　　門	21.1	24.8	0.9	7.3	23.9	0.9	5.5	1.8	3.7	0.0	2.8	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.9
小 松 島	13.5	29.7	1.4	5.4	12.2	2.7	0.0	1.4	5.4	1.4	6.8	5.4	0.0	2.7	1.4	0.0	6.8	0.0	2.7	1.4
吉 野 川	19.6	25.5	2.0	3.9	11.8	3.9	2.0	0.0	3.9	2.0	5.9	3.9	2.0	0.0	3.9	0.0	5.9	0.0	0.0	3.9
阿波池田	18.0	14.0	0.0	8.0	16.0	4.0	6.0	2.0	2.0	6.0	10.0	6.0	0.0	2.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	2.0
阿　　南	5.9	28.7	1.0	18.8	10.9	4.0	3.0	1.0	5.9	0.0	10.9	3.0	0.0	1.0	1.0	0.0	3.0	0.0	2.0	0.0

徳島県下業種別景況天気図

（令和4年4～6月）

徳島県商工会議所連合会

業種別	売上高			収益		資金繰り		業況
	4～6月		7～9月	4～6月	7～9月	4～6月	7～9月	7～9月
	前年同期比	前期比	予想	前年同期比	予想	前年同期比	予想	予想
全業種								
建設業								
製造業								
卸売業								
小売業								
サービス業								

DI 値の範囲	+50 ～	+25 ～ +49	0 ～ +24	−25 ～ −1	～ −26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク					

※ DI とは、増加（好転）企業から減少（悪化）企業を差し引いた値。

徳島県下地域別景況天気図

（令和4年4～6月）

徳島県商工会議所連合会

地域別	売上高			収益		資金繰り		業況
	4～6月		7～9月	4～6月	7～9月	4～6月	7～9月	7～9月
	前年同期比	前期比	予想	前年同期比	予想	前年同期比	予想	予想
徳島	☁	☁	☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁
鳴門	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂	☂/☁	☂/☁	☂/☁
小松島	☂/☁	☁	☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁
吉野川	☂	☂/☁	☂/☁	☂	☂	☂	☂	☂/☁
阿波池田	☂/☁	☂/☁	☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁
阿南	☂/☁	☁	☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁

DI 値の範囲	+50 ～	+25 ～ +49	0 ～ +24	−25 ～ −1	～ −26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク	☀	☀/☁	☁	☂/☁	☂

※ DI とは、増加（好転）企業から減少（悪化）企業を差し引いた値。

徳島県下業種別業況予想

（令和4年7～9月見通し）
徳島県商工会議所連合会

地　　域	建　設　業	製　造　業	卸　売　業	小　売　業	サービス業
徳　　島					
鳴　　門					
小　松　島					
吉　野　川					
阿波　池田					
阿　　南					

DI 値の範囲	+50 ～	+25 ～ +49	0 ～ +24	−25 ～ −1	～ −26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク					

※ DI とは、増加（好転）企業から減少（悪化）企業を差し引いた値。

商工会議所管内業種別景況天気図 （令和4年4～6月）

徳島商工会議所

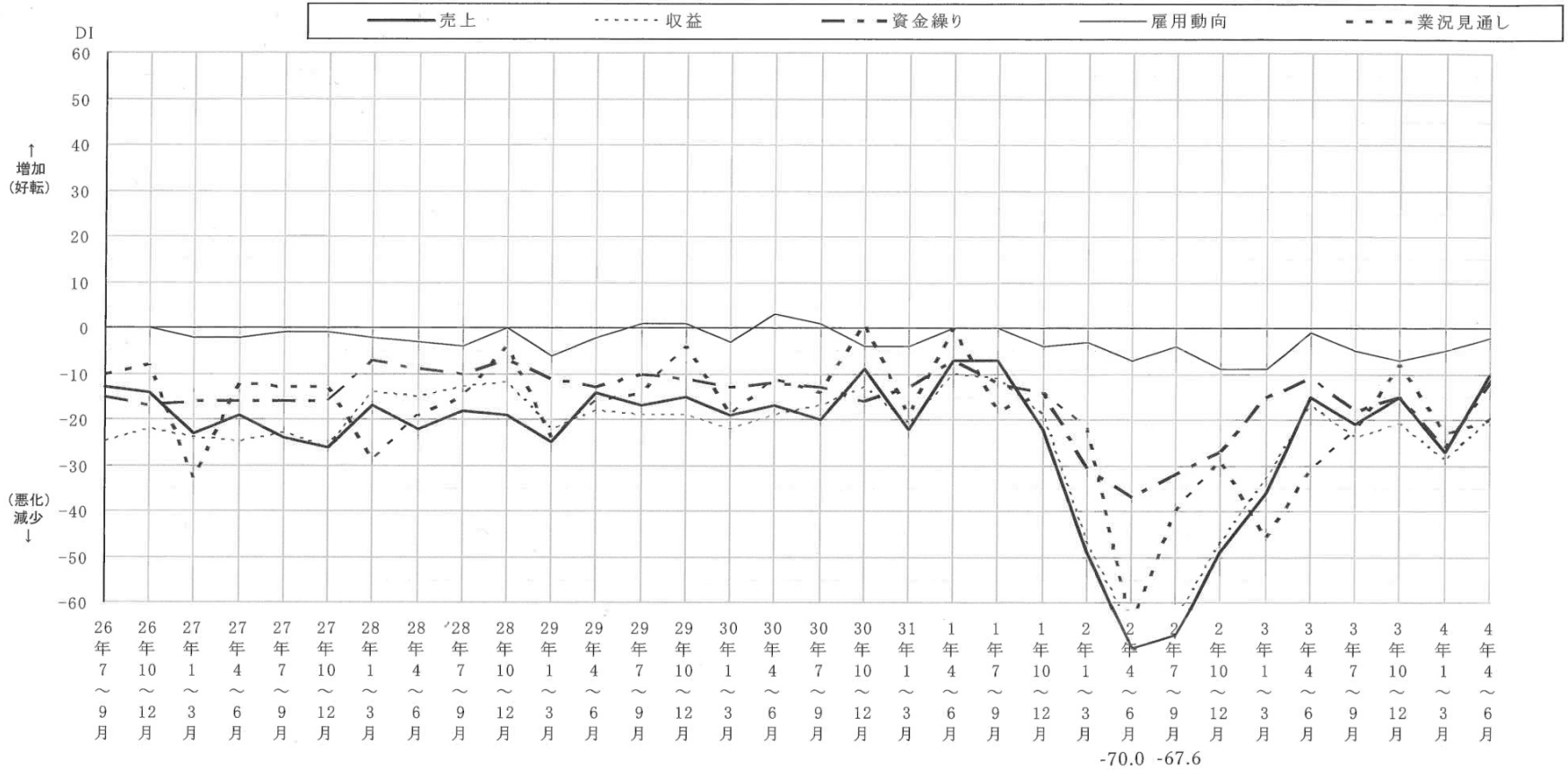
業種別	売上高			収益		資金繰り		業況
	4～6月		7～9月	4～6月	7～9月	4～6月	7～9月	7～9月
	前年同期比	前期比	予想	前年同期比	予想	前年同期比	予想	予想
全業種	☁	☁	☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁
建設業	☂/☁	☁	☂/☁	☂	☂/☁	☁	☂	☂/☁
製造業	☂/☁	☂	☂/☁	☂	☂/☁	☁	☂/☁	☂/☁
卸売業	☁	☁	☂/☁	☂	☂	☁	☂/☁	☂
小売業	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁	☂/☁
サービス業	☀/☁	☀/☁	☀	☁	☁	☂/☁	☂	☀/☁

DI 値の範囲	+50 ～	+25 ～ +49	0 ～ +24	-25 ～ -1	～ -26
状況	特に好調	好調	普通	不振	特に不振
天気マーク	☀	☀/☁	☁	☂/☁	☂

※ DI とは、増加（好転）企業から減少（悪化）企業を差し引いた値。

徳島県商工会議所連合会景況調査　主要項目の動向(前年同期比)

令和4年4～6月現在



設問　自由回答
（貴社が属する業況の問題点、売れ筋商品、消費者動向の傾向など何でも結構です。）

◇食料品製造業◇

・下請企業からの値下げが止まらない。

・酒類の売上は少し戻ってきたが、飲食店がコロナ前の状態に戻らないので以前の状況に戻るにはまだしばらくかかる。製造している食品類の売上は安定しているが、容器、包装材、燃料等の値上がりの影響がこれから出てくる。

◇木材・木製品製造業◇

・今後の住宅着工数がどうなるのか、先が見通せない。

・見積時と契約時の間にタイムラグが 2～3 か月から長いもので半年～1 年あるため、これだけ次から次へと材料が値上がりすると、売価に転嫁するのが難しい。

◇繊維・衣服等卸売業◇

・円安により今後の海外からの輸入単価が上がる。

・仕入単価が今年だけでもすでに 3 回上昇しており対応に苦慮している。海外からの新商品も少なく、繊維業界は活気がない。

◇その他卸売業◇

・ロシア関係、石油関係、季節の変化等でさまざまな商品が値上がりし、また品不足もあり、営業には悪影響が大きい。お得意様への対応にも気を遣います。

◇織物・衣服・身の回り品小売業◇

・商品の値上げや仕入数量の減少が、今後どうなるか分からない。

◇飲食料品小売業◇

・店舗の近くで高層マンションの建設があり、作業員さんたちの飲料・タバコの売上(自動販売機による)が一時的に上がった。

◇飲食店◇

・原材料の値上げを売上単価にいつ反映すればよいか模索している。

・電気代、仕入額の増加が経営に与える影響が大きい。

・原材料等のコスト上昇による経営への悪影響がさらに進んでいる。

◇運輸業◇

・燃料高騰、コロナ、ロシアのウクライナ侵攻等、経営への影響がかなり大きい。

・人材(運転手)不足に悩まされている。

◇情報関連サービス業◇

・待ち望んでいた大型システム改修業務の受注が決定した。工期は来期にまたがるので売上額が増加することはないが、仕掛品が増えて経営内容がよくなる。

設問1
令和5年10月1日から導入されるインボイス制度についてご存じですか。

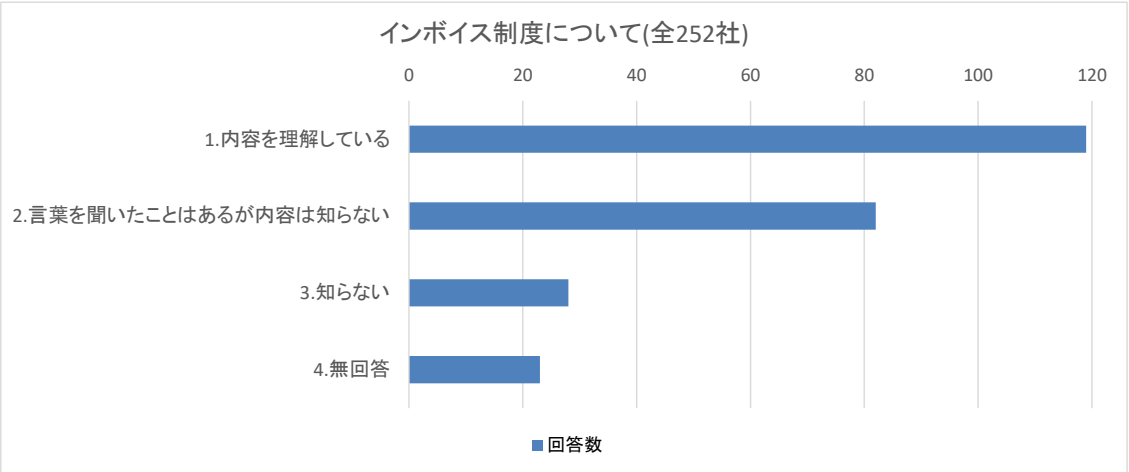
1.内容を理解している　　2.言葉を聞いたことはあるが内容は知らない　　3.知らない

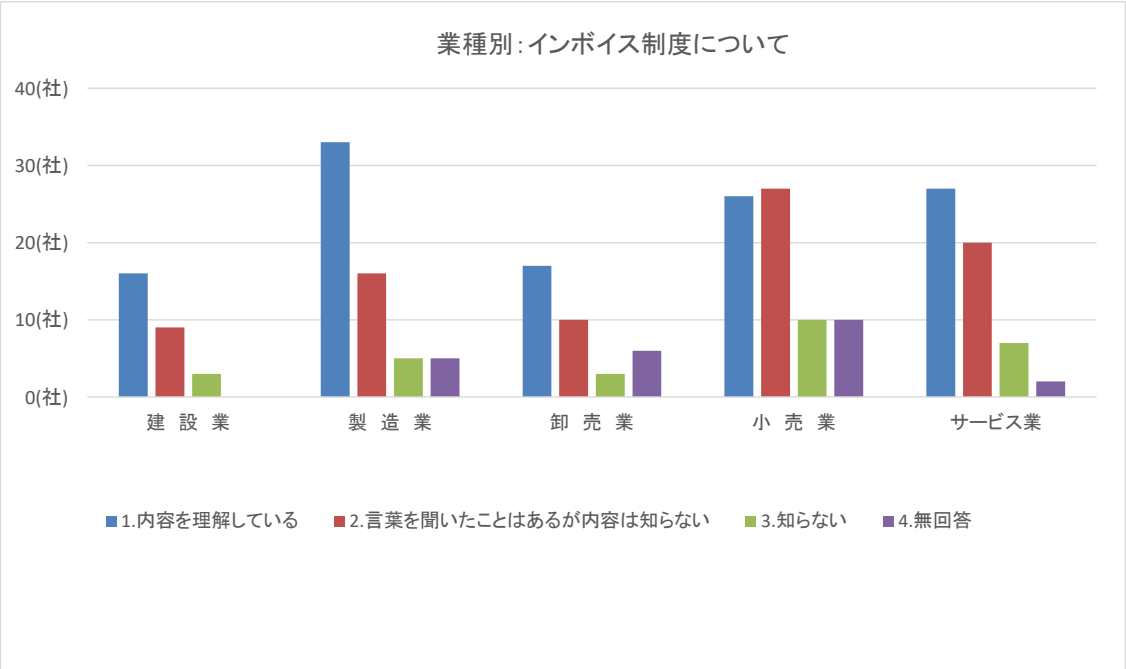
◇回答◇

1.内容を理解している
2.言葉を聞いたことはあるが内容は知らない
3.知らない
4.無回答

【産業別】　　**回答社数:252社**

	建　設　業	製　造　業	卸　売　業	小　売　業	サービス業	合計(社)	構成比率(%)
1	16	33	17	26	27	119	47.2
2	9	16	10	27	20	82	32.5
3	3	5	3	10	7	28	11.1
4	0	5	6	10	2	23	9.1





設問2
インボイス制度導入に向け、貴社のインボイス発行事業者への登録申請状況について教えてください。

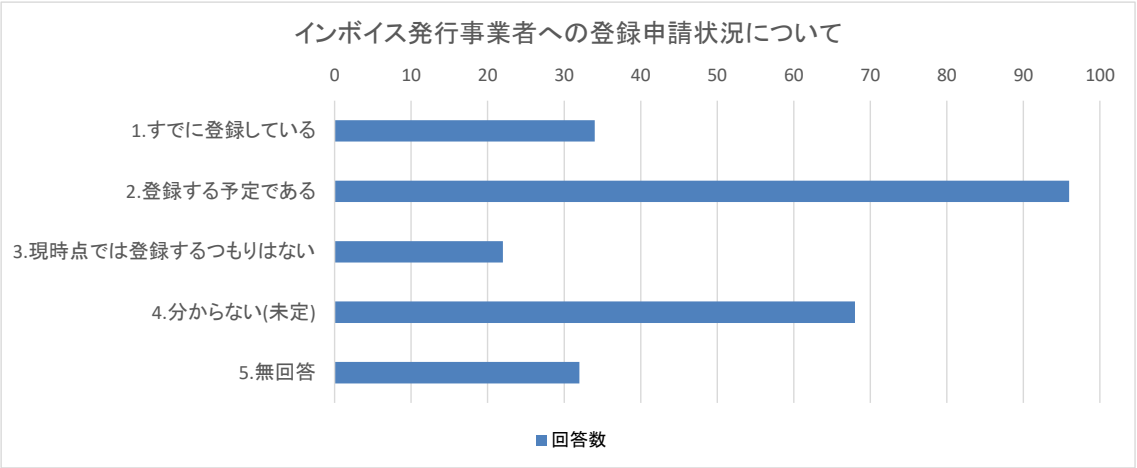
1.すでに登録している　　2.登録する予定である
3.現時点では登録するつもりはない　　4.分からない（未定）

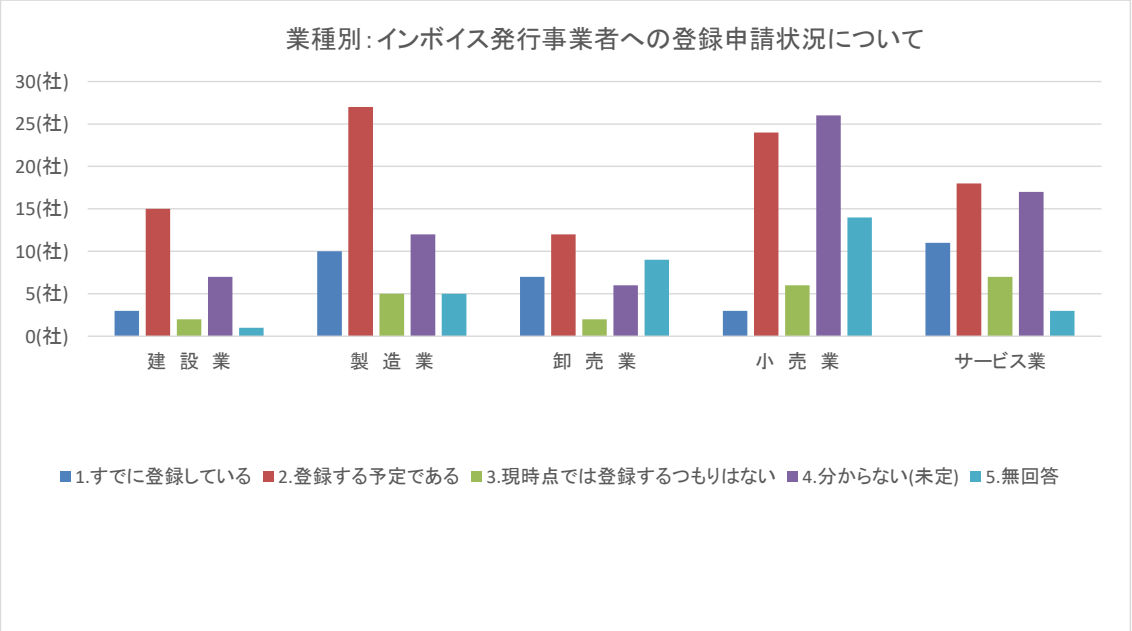
◇回答◇

1.すでに登録している
2.登録する予定である
3.現時点では登録するつもりはない
4.分からない(未定)
5.無回答

【産業別】　　回答社数：252社

	建　設　業	製　造　業	卸　売　業	小　売　業	サービス業	合計（社）	構成比率(%)
1	3	10	7	3	11	34	13.5
2	15	27	12	24	18	96	38.1
3	2	5	2	6	7	22	8.7
4	7	12	6	26	17	68	27.0
5	1	5	9	14	3	32	12.7





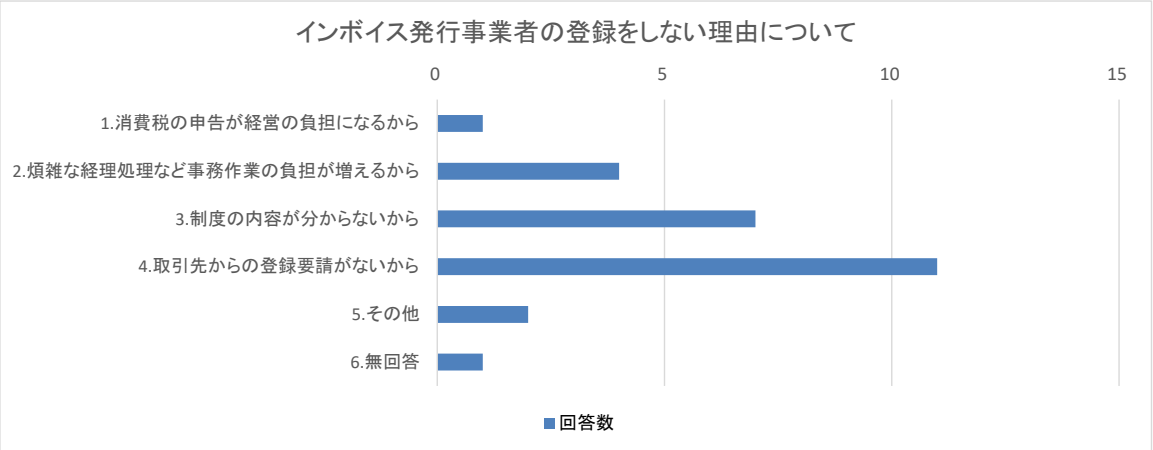
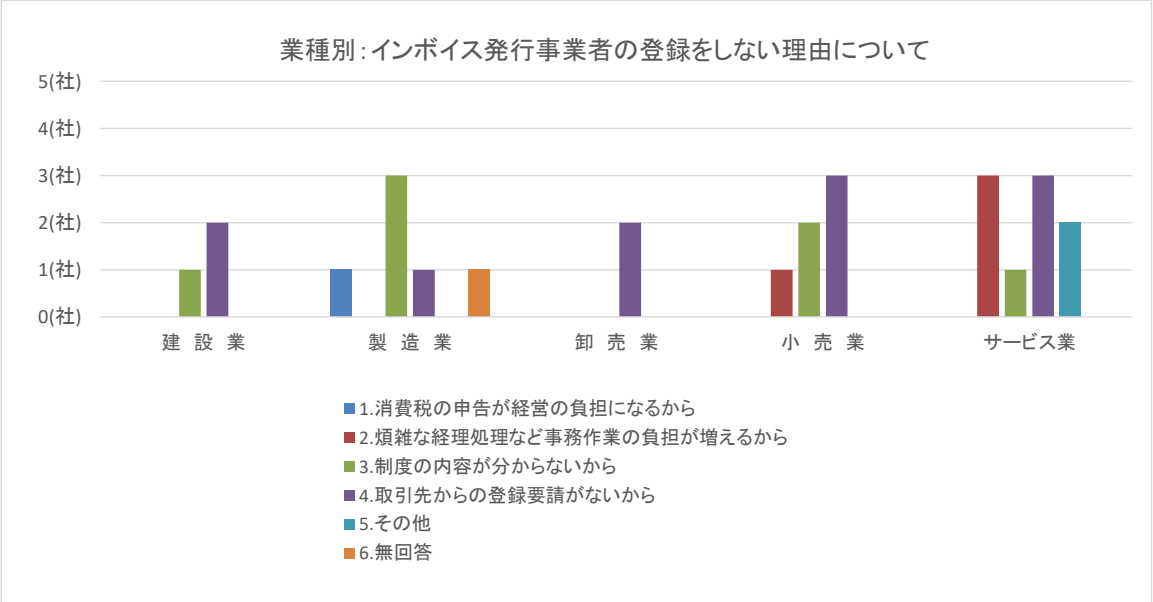
設問3
設問2において、3.現時点では登録するつもりはない と回答した方にお伺いします。その理由について当てはまるものを選択肢からお選びください。（複数回答可）

1.消費税の申告が経営の負担になるから　　2.煩雑な経理処理など事務作業の負担が増えるから
3.制度の内容が分からないから　　4.取引先からの登録要請がないから

◇回答◇

1.消費税の申告が経営の負担になるから
2.煩雑な経理処理など事務作業の負担が増えるから
3.制度の内容が分からないから
4.取引先からの登録要請がないから
5.その他
6.無回答

【産業別】　　**回答件数：25件**

	建　設　業	製　造　業	卸　売　業	小　売　業	サービス業	合計（件）
1	0	1	0	0	0	1
2	0	0	0	1	3	4
3	1	3	0	2	1	7
4	2	1	2	3	3	11
5	0	0	0	0	2	2
6	0	1	0	0	0	1

※設問2において、回答3を選択した事業者を対象とした。